

発行所: 株式会社 帝国データバンク

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-17-10 TEL:052-561-4111(代)【情報部】TEL:052-561-4846
 豊橋支店 〒440-0861 豊橋市広小路3-45-2 TEL:0532-53-8175
 岐阜支店 〒500-8735 岐阜市明徳町10 TEL:058-265-5596
 津支店 〒514-8547 津市丸之内34-5 TEL:059-225-4111
 四日市支店 〒510-0067 四日市市浜田町2-14 TEL:059-353-3411
 (本社) 〒107-8680 東京都港区南青山2-5-20 TEL:03-5775-3000(大代表) URL:http://www.tdb.co.jp/
 購読料:1年間52,000円(本体価格)複写転載厳禁 ©TEIKOKU DATABANK,LTD.

TDB TEIKOKU NEWS

mon/wed/fri

帝国ニュース 中部版

NO.8055 2017

10/18

wed.

Page

01

最新ニュースはここで見られます

<http://www.tdb-news.com/>

CONTENTS

03— 中部9県企業倒産集計 2017年9月報
 件数127件、前月比増加は3カ月ぶり
 負債145億8600万円、2カ月連続で前年同月比減少

07— Scope&Focus
 プラスワン・マーケティング
 事業売却の先にあるのは…

08— 倒産・動向記事

株鳥秀 [統報 食肉卸]	(三重)
株タナベなど2社 [配線プログラム設計・製造]	(静岡)
株エスシーなど2社 [中華料理店経営]	(東京)
株能代水産物地方卸売市場 [生鮮魚介卸]	(秋田)
資叶屋旅館 [温泉旅館経営]	(福島)
ニッシン(株) [カーペット製造]	(大阪)
神農(株) [統報 乾燥食品卸]	(広島)
博洋自動車(株) [自動車整備]	(福岡)
有池司蒲鉾工場 [水産練り製品製造]	(佐賀)

12— 雑感 <244>
勝利を支えた昇鯉の裏方

13— クローズアップ
(有)タッチ
 人工知能が持つ優位性を活用する



関ヶ原合戦祭り(岐阜県不破郡) (上)

慶長5年(1600年)、東軍と西軍が戦った「天下分け目の戦い」は、関ヶ原町が舞台となったことから、史実に基づく一般参加型の歴史祭りが開催される。今年も10月14・15日に甲冑を着た武者行列や合戦の再現劇、古式火縄銃演武などが行われる。

虎渓山永保寺 国宝観音堂(岐阜県多治見市) (下)

正和2年(1313年)、禪宗寺院の庭園設計で知られる禅僧・夢窓疎石により開創された臨済宗南無寺派の寺院である。池泉回遊式庭園を彩るモミジや、本堂前の樹齢約700年のイチチョウが美しく、飛騨美濃紅葉33選に選ばれている。

(写真提供:一般社団法人岐阜県観光連盟)

第 642 回

クローズアップ

この会社のココに注目!

名古屋支店発

(有) タッチ

(TDB企業コード 401041582)

人工知能が持つ優位性を活用する

昨今、安倍総理大臣が議長を務める働き方改革実現会議において、労働制度の改革や働き方の変革を着実に進める取り組みがなされている。そのなかで、少子高齢化が加速度的に進む現代では、人手不足の解消や労働生産性の向上は、全ての企業において取り組むべき課題と言える。今回紹介する(有)タッチは2017年3月に経済産業省が主導するIT導入補助金のIT導入支援事業者に認定された、コンピュータサポートのエキスパート集団で、当社が得意とする人工知能(以下AI)の技術を活かし、クラウドシステムや最新のテクノロジーを活用したワークスタイルの導入により、人手不足の解消や労働生産性の向上の具現化をサポートしている。

具体的には、労働生産性に関わる①時間と②コストの圧縮を目的として、同社製品の“クラウドスターパック”を導入し、同パックに含まれるシステムについて、セミナーやトレーニングを行いサポートするスキームである。さらに“マイクロソフトパートナー シルバーコンピテンシー”を取得し、マイクロソフト社と技術面での連携が強いことを活かして、2016年版日本における“働きがいのある会社”ランキング1位を獲得したマイクロソフトの働く現場見学会を企業向けで催し、日本マイクロソフト(株)本社や同中部支店で実際の働き方を体感してもらっている。この見学会に参加した企業の多くは、上記のスキームの体験を通して、オフィスワー



「AIの優位性を知ってもらいたい」と田島社長

クの改善や在宅勤務の実現を果たしている。そして、労働生産性の向上のほか、子育てや両親の介護支援など様々な事情を抱える従業員のライフスタイルに合わせた勤務体制を構築し、離職率の低減にも繋がっているとされる。

また、2020年から小・中学校でプログラミングが必須科目となることを背景として、同社は愛知県下の小・中学校での各授業に対するサポート業務を担っており、各校の先生向けセミナーの依頼が引きも切らないそうだ。目玉としては小型ヒューマノイドロボットの“Na-o”を使い、同ロボットのプログラミングを実際に行うことで、どの様な変化をもたらすのかを体感出来る点で、「将来を背負って立つ子供達に、プログラミングの素晴らしさを少しでも感じてもらえたら」、と田島社長は語る。そのため、この想いに賛同するパートナー企業を募集していきたいとされるなど、今後の日本を支えるAIの活用に注力する(有)タッチの動向には目が離せない。

(名古屋支店調査第4部 内藤 壇)

会社概要

(有)タッチ

本社:名古屋市天白区植田西 1-522

電話:052-806-8899

代表:田島 秀和氏(1973年生、愛知県出身)

業種:IT関連のトータルサポートおよびスクール

資本金:600万円 創業:1996年8月

年売上高:約1億6000万円(2017年6月期)

URL:<http://www.touch.co.jp/>